

平成28年度 学校経営計画及び学校評価

1 めざす学校像

充実した教育環境のもとで、のびのびと明るく元気に過ごし生活体験や活動を通して積極的にものごとに取り組む意欲と態度を身につけ、豊かな心を育み、一人ひとりの人格形成と生きる力の基礎を培う。

- 1 建学の精神「報恩感謝」、教育理念「人をつくる」、教育方針「個性の尊重」「明朗と自主」「実行から学べ」「礼儀と品性」をふまえ、豊かな人格形成の基礎を育む。
- 2 安心・安全な環境のもとで集団生活を送り、基本的な習慣を身につけるとともに、子どもが主体的に活動しようとする積極的な態度を養う。
- 3 遊びや活動を通して、自然や社会に対する関心を広げ、人とのふれあいや協力を通して、基本的信頼感や心身の調和した発達の基礎を培う。
- 4 子ども一人ひとりをよく見守り、子どもの健全な成長を促すことができるよう、その個性・特性に応じた指導を行う。
- 5 保護者や地域と連携・協力し、より多様な教育環境を創り出すことによって、子どもの生活体験を豊かにし、いきいきとのびやかな成長を促す。

2 中期的目標

【1】心身の健全な成長を促し、豊かな人格形成の基礎を培う。

- (1) 健康で活発な子どもを育てる。
- (2) 自ら考え行動する子どもを育てる。
- (3) 思いやりと優しさのある子どもを育てる。

【2】基本的な習慣やマナー、ルールを守る態度を身につける。

- (1) 基本的な生活習慣とマナーを身につける。
- (2) ルールを守るなど集団生活に必要な態度と行動を身につける。

【3】安心・安全な教育環境を整備し、子どもの活発な活動を促す。

- (1) 安全・防災教育を推進し子どもの安全を確保するとともに、危険を回避する力を身につける。
- (2) 子どもが安心して楽しく生活し、興味・関心を広げることができる環境を整備する。
- (3) 子どもが自然や社会に触れて感じたり理解したりすることができる環境を整備する。

【4】教育課程を通して積極的に取り組む態度や友達と助け合い協力する態度を身につける。

- (1) 運動することを楽しみ、技能を高め新たなことに挑戦しようとする態度を養う。
- (2) 読む・書く・数えることに興味をもち、考える力・表現する力を身につける。
- (3) 仲間とともに行事・活動に取り組み、努力することや協力することの大切さを学ぶ。

【5】一人ひとりの子どもの個性・発達・特性に応じた指導を行う。

- (1) 子どもの興味や関心、個性の違いをふまえて一人ひとりに応じた指導を行なう。
- (2) 子どもの成長や発達、特性の違いをふまえて一人ひとりに応じた支援を行なう。

【6】保護者・地域と連携した教育活動を実施する。

- (1) 保護者の要望をふまえ、保護者と連携して意識を高めていき充実を図りともに子どもを育てる。
- (2) 地域の理解や協力を得ながら、地域と連携して豊かな教育活動（子育て相談・園庭開放など）を実施する。
- (3) 幼稚園・保育園・小学校との交流会に参加し、情報の共有や教育課程・保育課程について理解を深める。

【7】教職員の研修を推進し幼稚園運営体制の充実を図る。

- (1) 園内・園外研修会に参加を促進し、また、充実させ教職員の資質の向上を図る。
- (2) 教職員の協力・連携を強化し教育力の向上と教育内容の充実を図る。

【自己評価アンケートの結果と分析・学校協議会からの意見】

自己評価アンケートの結果と分析〔平成28年度〕11月実施	学校協議会からの意見
<p>評価項目：教育（保育）活動及び幼稚園に対する全体的評価を行なった 評価方法：各項目について5段階で評価を行なった ＊目標数値は4.0以上を目指す</p> <p>【心身の健全な成長】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども達は心身共に目標通り成長できていると思う（4.0） ・温もりのある保育を実践しながら思いやりの気持ちを育てていると思う（4.3） ・子どもの成長を通して当園への入園は良かったと思う（4.4） <p>【基本的な習慣とマナー】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども達は全体的にマナーを身に付けてきていると思う（3.8） ・学年の全体的な生活習慣は身に付いてきていると思う（4.0） ・挨拶や整理整頓についての指導ができていると思う（4.1） ・食事に関して正しい習慣が身に付いてきていると思う（3.6） ・きまりを知り守ろうとする気持ちや物事の善悪を理解する心が育っていると思う（3.6） <p>【安全・安心な教育環境と子どもの活発な活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども達への安全確保（セキュリティ）に注意が払われていると思う（3.9） ・子ども達が安心して生活できる環境整備になっていると思う（4.4） ・園からの緊急連絡が速やかに伝わるよう工夫された体制が整っていると思う（4.3） <p>【積極性や協力する態度を養う教育課程】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育内容は充実していると思う（4.3） ・子ども達に心の力が目標通り育まれていると思う（4.1） ・子ども達に学ぶ力が目標通り育まれていると思う（4.1） ・子ども達に体の力が目標通り育まれていると思う（4.2） ・園に行くことを楽しみにして喜んで行事にも参加していると思う（4.6） <p>【子どもの個性・特性に応じた指導】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども達は先生に親しみ信頼関係はよいと思う（4.2） ・個々の成長、発達、特性の違いを踏まえた指導支援ができていると思う（4.1） ・子ども一人ひとりを大切に受け止めた指導を行なっていると思う（4.2） ・課外教室は豊富で選びやすく満足していると思う（4.2） <p>【保護者・地域と連携した教育活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者との信頼関係を築く努力をしていると思う（4.5） ・保護者から相談を受けることが多いと思う（3.5） ・保護者の相談などに対して誠実に対応し連携を図っていると思う（4.4） ・預かり保育は利用しやすく安心して預けることができると思う（4.2） <p>【教職員の研修を推進し幼稚園運営体制の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ねらいや目標に向かって日々研究し努力していると思う（4.2） ・自分の目標は現時点で達成に近づいていると思う（3.7） ・子どもにあった環境を見つめ意欲が高まるよう取り組んでいると思う（4.2） <p>〔分析〕</p> <p>○教職員は、本園の教育目標について連携をもって互いに理解し合い、本年度の教育目標・重点目標を踏まえ、日々研究・研鑽を重ね熱心な指導をしている。また、計画・カリキュラムに沿って実施され概ね達成された。そのことは、保護者に対して、日々の保育内容の理解へと繋がった。</p> <p>○教職員は、子ども達の心身の健やかな成長を願い熱心で細やかな行き届いた取り組みになっている事に、保護者はほぼ満足し、入園して良かったは教職員より高い評価となった。</p> <p>○教職員は、同学年及び学年を超えた熱心な意見交換や話合いの時間をもち、ステップアップ会議・園内研修会・外部研修会の成果などを踏まえて、日々より良い保育活動を目指して指導計画を立案し実践することができた。しかし、個人の目標達成においては満足できていないが多く、引き続き研鑽と努力をしていくことが課題である。</p> <p>○子ども達は様々な活動・体験を通して喜んで楽しく園生活を送り、基本的な生活習慣や集団生活をする中で大切な決まりなどを理解して身につけ、仲間と協力しながら主体的に活動する力を養ってきた。その中で、友だちへの思いやりと助け合うことの大切さ及び感謝する気持ちも芽生えてきた。</p> <p>○基本的な生活習慣と全般のマナーについて、やや低い評価となっているので、幼児期における生活習慣やマナーについては、家庭生活においても気をつけて育まれるよう保護者への啓発で理解や支援に繋げる。また、特に食事面では、食育を通して、食べることの大切さ箸を正しく持って使えない子どもの増加を考慮し真摯に受け止めて指導を行ない、家庭への啓発の推進を継続していく。</p> <p>○安全・安心な教育環境において、園から緊急連絡について、ミマモルメ配信や手紙で丁寧に実施した結果、教職員の評価は良かったが、保護者は登録変更後の手続きの遅延等で配信に問題が生じ、連絡項目で低い評価となったため、今後は危機管理意識を高められるような協力体制をしていく。</p> <p>○正門の出入り口のセキュリティについて、保護者に適切な対策を図ったため安心されほぼ満足されている。引き続き保護者証提示の協力で安全強化に努めていきたい。</p> <p>○教育課程の「心の力」「学ぶ力」「体の力」の評価について、保護者との差はほぼない状況で今後も引き続き、子ども達の可能性の力を引き出せるような取組み及び保育全般に対する知識・技能を一層高め、より良い保育を実践できるよう研鑽を重ねていきたい。</p> <p>○行事について、子ども達が喜んで参加できるように教職員が協力し合って取り組む事ができた。</p> <p>○子ども達の個性や特性に応じた保育の丁寧な指導は、電話や手紙などで連絡を密に取り合い積極的に進めた結果良い評価に繋がったと思う。また、特に配慮や支援を要する子どもに対しては、専門の講師から意見を聞き報告会を行ない全教職員が理解に努めた。今後についても継続していく。</p> <p>○豊富な課外教室の選択に教職員は満足しているが、希望する時間帯や保護者の送迎時の待ち時間・場所などの問題で保護者の評価は低い。今後については預かり保育の参加を推進して解消に努めていきたい。</p> <p>○家庭訪問・個人懇談会・集団懇談会・個別相談・お便り・談話会の実施を今後も継続していき、保護者と連携しながら子ども達の心身の発達に取り組んでいく。</p> <p>○保護者アンケート（意見記入欄有）の回収率は100%で、保護者の協力や関心が極めて高いことが言える。意見記入について、氏名表記の保護者には丁寧な対応した結果、園（担任）に対する理解度が増した。今後も保護者と教職員のアンケート結果を真摯に受け止め、分析して幼稚園の教育活動及び園児募集に反映させていきたい。</p>	<p>○心身の健全な成長など全体として、入園前の見学会や説明会で、幼稚園の教育目標・教育方針を伝える努力をし、また、教育内容についても、子ども達の様子や取り組みを園便りなどの広報により知らせ工夫がなされているので、ほぼ満足していると思える。</p> <p>○子ども達の基本的な生活習慣では自分の事は自分でしようとする指導により、自立に繋がっていると思う。また、マナーや躾は園生活を通して少しずつ身につけてきている。しかし、特に公共機関利用の際のマナーについては、保護者も含め問題点となる事が多く、手紙やクラス集会などで保護者への啓発を度々行なっていただきたい。</p> <p>○挨拶は、園内では進んでできているが来園者に対しては促されていることが見受けられるので、根気よく習慣づけていただきたい。</p> <p>○きまりを知り守っていく事、善悪を理解して行動できるためには、家庭の協力も必要で、今まで以上に保護者と連携を図っていただきたい。</p> <p>○園舎の環境整備は大変良く、子ども達が安心して、のびのびと遊び元気に体を動かし活動しやすいので、大変良い評価になっている。</p> <p>○確実な緊急連絡方法（ミマモルメ対応）について、かなり評価が低く早急の対策をお願いしたいところですが、保護者の協力体制も必要であることを感じた。</p> <p>○保育内容について、目標以上になっていることに評価できる。特に心の力では相手を思いやる気持ちの醸成を引き続きお願いし、今後更に3つの力が均等な評価となるよう家庭への周知徹底と伝達を確実にこなす努力をしていただきたい。</p> <p>○子ども達の個性・特性を尊重した指導の評価が僅かながら下降気味で、子ども達の気持ちにしっかりと向き合い把握して、丁寧な指導に励み、保護者に理解が得られるような実践を強く望みます。また、きめ細やかな取り組みをしている支援教育については次年度も期待しています。</p> <p>○保護者の相談などに対して概ね親切に丁寧な対応をしていると思う。しかしながら、経験浅い教職員について厳しい意見が出ているのでそれを踏まえた対応を至急に取り組んでいただきたい。しかしながら、子育てについて相談ができることに保護者は安心されている。</p> <p>○保護者は教職員に対して、概ね信頼を寄せていると考えられ良い関係ができていると思う。しかしながら多少なりと個人差があり、差をなくせるように、教職員同士の日々の取り組みの中で、相互理解できるようにしっかりと意識を高めていただきたい。</p> <p>○子ども達の育ちのために、幼稚園・保育所・小学校の交流会への積極的な参加を今後も望みます。</p> <p>○研修会の内外に参加し、教職員が学年を超えた取り組みで、スキルアップを図っていることは大変良い。そして、今後に向けて更に、教育・指導に反映させてほしいと思う。</p>

3 本年度の取組内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価
1 心身の健全な成長・豊かな人間形成の基礎	<p>(1) 健康で活発な子ども</p> <p>(2) 自ら考えて行動する子ども</p> <p>(3) 思いやりと優しさのある子ども</p>	<p>(1) 健康で活発な子ども ア、健康な体をつくるために、かけっこ・体操・自由遊びを通してしっかりと運動能力を養うように取り組む。 イ、友だちの姿から刺激を受けて、自分で考えて自分でやろうとする気持ちを培う。</p> <p>(2) 考えて行動する ア、基本的な習慣を時間の流れに応じて考えて行動する。 イ、場面に応じて次は何をするかを考えて行動する。</p> <p>(3) 思いやりと優しさを育てる ア、困っている友だちがいれば一緒に考えたり行動したりできる。 イ、みんなで活動する時に場面に応じて自ら手伝いをする。</p>	<p>(1) 健康で活発な子ども (4.0) ア、①かけっこやリレーで体力を向上する。 ②4種目の基本の柔軟体操ができる。 ③色々な遊びやゲーム遊びの中でも十分に体を動かす。 イ、①学年・個々の目標が達成できる。 ②積極的に自ら取組むようになる。</p> <p>(2) 考えて行動する (4.0) ア、挨拶、衣服の着脱、うがい、手洗いなど時間を見て考えてできる。 イ、次活動について何をするか自分で考えて行動できる。</p> <p>(3) 思いやりと優しさを育てる (4.0) ア、体操や学習、また生活面で困っている子に教えたり世話をしたりすることができる。 イ、生活や活動を通して、気がついて進んで手伝いができる。</p>	<p>(1) 健康で活発な子ども (4.2) ア、ほとんどの子どもが身体を動かす事、運動をする事が好きで、積極的に遊びにも取入れてかけっこやリレーを喜んで行なっている。4つの基本の柔軟体操もほぼ全員の子どもができるようになった。 イ、学年目標の活動がほぼ全員できるようになった。そして、まわりにいる友だちを意識しながら、自分もできるようになりたいと励んでいる。(4.0)</p> <p>(2) 考えて行動する。(4.2) ア、日々の生活の経験から、そのリズムにも慣れて基本的な習慣や動作ができるようになった。 イ、学年や個人差から、次の行動や動作を自分で考えることは、まだ、指示がないと難しいことがある。 ア、自ら気が付いて、自然と優しくしたり自分のできることは人に教えたりしている場面が多く見られるようになった。 イ、進んでまわりを見て手伝いをする姿が多く見られるようになった。</p>
2 基本的な習慣とマナー	<p>(1) 基本的な生活習慣と態度を身につける</p> <p>(2) 集団生活に必要な態度と行動を身につける。</p>	<p>(1) 基本的な生活習慣の確立 ア、挨拶をする。 イ、手洗い・うがい・歯磨きの習慣を身につける。 ウ、上手に箸を使う。また食事の準備と片付けをする。 エ、身のまわりの整理整頓や靴を揃える。 オ、正しい衣服の着脱の仕方を知る。</p> <p>(2) 集団生活に必要な態度を養う。 ア、自分やまわりの環境の整理整頓ができる。 イ、進んで手伝いをする。 ウ、公共の場での規範意識を高め望ましいマナーを身につける。 エ、感謝の内容を理解し、ありがとうの気持ちを持つ。</p>	<p>(1) 基本的な生活習慣 (4.0) ア、進んできちんと挨拶をする。 イ、手洗い・うがい・歯磨きが習慣的に自らできる。 ウ、正しく箸を持って食事をし、その準備や片付けができる。 エ、所持品の準備や始末をし、靴をきちんと揃える。 オ、自ら正しい衣服の着脱ができる。</p> <p>(2) 集団生活に必要な態度や行動ができる。(4.0) ア、自分の身のまわりの始末や所持品の整理整頓ができる。(4.0) イ、気がついて積極的に手伝いをする。 ウ、公共の場や乗り物内では迷惑のない態度や行動ができる。 エ、感謝の気持ちがわかりありがとうやごめんなさいを伝える。</p>	<p>(1) 基本的な生活習慣 (3.8) 未達成 ア、挨拶(おはよう・いただきます・ご馳走様・おやすみ・ありがとう・ごめんなさい等)は、恥ずかしがらず自らできるような指導を目指していく。 イ、保健指導で手洗い・うがいの励行ができた。 ウ、食育全般や特に箸の持ち方について、家庭と連携し協力を得ながら指導していく。 エ、靴を揃えるは全員関心を持って取組んだ。 オ、ボタンなども上手にできるようになった。</p> <p>(2) 集団生活に必要な態度や行動ができる。(4.0) ア、自分の身のまわりの始末や所持品の整理整頓がほぼできるようになった。(4.1) イ、感謝の言葉から更に進んで手伝いができるようになり、好きな活動となってきている。 ウ、車内や公共の場において、社会のマナーが守れるように引き続き指導していきたい。 エ、報恩感謝の意味を伝え理解に繋げていき、気持ちを込めたありがとうが言えるようにしていきたい。</p>
3 安心・安全な教育環境の整備と子どもの主体的な活動	<p>(1) 楽しく生活し、興味・関心を広げる環境を整備する。</p> <p>(2) 自然や社会に触れることができる環境を整備する。</p> <p>(3) 安全・防災教育を推進し子どもの安全を確保する。</p>	<p>(1) 保育室環境の整備の充実 ア、保育室の図書設備の充実を図る。 イ、季節に応じた制作や絵画を計画する。 ウ、体操や遊びに係る整備、備品、用具の充実を図る。 エ、健康で安全な生活の基本として、食を営む力を育て、望ましい食習慣の定着を図る。</p> <p>(2) 自然・社会環境の整備の充実 ア、生き物を飼育する。 イ、植物や野菜を栽培する。 ウ、園外保育に出かけ、公共機関の様子などを知り、また、いろいろな人と触れ合う。</p> <p>(3) 安全・防災教育を実施 ア、交通安全教室・防犯教室を実施する。 イ、防災訓練を実施する。 ウ、JR出張授業を実施する。 エ、事故防止や感染予防に努める。</p>	<p>(1) 保育室環境の整備 (4.0) ア、絵本・紙芝居などを豊富に揃える。 イ、絵画や制作をする中で、季節を感じ表現することを味わい楽しむ。 ウ、安全についての構えを身につけ、自分の体を大切にしながら積極的に運動や遊びができる。 エ、進んで食べようとする気持ちを育て、食べることに喜びをもち、食の大切さを感じるようにする。</p> <p>(2) 自然・社会環境の整備 (4.0) ア、生き物などの飼育を通して命を大切にすること。 イ、自然物に関心を持ち、また、植物や野菜の生長を楽しみ、また、味わう。 ウ、園外保育に参加し、施設や交通機関などの視野を広げる。</p> <p>(3) 安全・防災教育 (4.0) ア、交通ルールを守ることの大切さや防犯について知識を高める。 イ、避難の仕方を知り、危険回避能力を身につけ、身の安全を図り速やかに行動できる。 ウ、電車におけるきまりやマナーを知り守る。 エ、自ら、健康と安全に関する技術を身につける。</p>	<p>(1) 保育室環境の整備 (4.4) ア、文字や言葉に関心を持って本を読み、内容についても心の教育へと繋がる絵本を豊富に準備できた。 イ、制作を行なう際、教材や素材からも季節感が味わえることができた。 ウ、自分自身の体を労わり、安全面に気をつけながら活動ができるようになった。 エ、好き嫌いをしないで、食の恵みに感謝をもって、喜んで食べるようになった。</p> <p>(2) 自然・社会環境の整備 (3.6) 未達成 ア、生き物(ザリガニ・金魚・めだか・かめなど)を飼育し進んで世話ができた。一年間を通してできなかったクラスもあり、今後検討していきたい。 イ、野菜を育てながら、自然物(草・花)にも関心を持ち、また、食べて味を楽しむことができた。 ウ、遠足・いもほり・みかん狩りなどを実施し、いろいろな人の世話になった。</p> <p>(3) 安全・防災教育 (4.4) ア、警察の方から、交通安全教育と防犯教育の指導を受け、信号のルール遵守に繋がった。 イ、火災の避難訓練(消防署指導)・地震訓練(2回実施、ヘルメット着用練習)など防災教育の活動を実施した。 ウ、JR出張授業から、緊急時の対応・乗車マナーなど安全面を重視した指導を受けた。 エ、災害からまず自分の命を守る大切さを引き続き導いていく。</p>

<p>4 自主性や協力的態度、規範意識のめばえ</p>	<p>(1) 身体を動かし、積極的に運動する。</p> <p>(2) 読む・書く・数える・考える・表現する。</p> <p>(3) 行事・活動に取り組み、仲間と協力すること、また集団活動のルールを理解する。</p>	<p>(1) 積極的に運動する。 ア、かけっこを毎日取り入れる。 イ、柔軟体操の4種目の基本ができる。 ウ、体操では色々な種目に目標をもって挑戦する。</p> <p>(2) 読む・書く・数える・考える・表現する。 ア、ひらがな、カタカナを覚え書く。 イ、絵本を読み話の内容を理解して、考えや思いが伝えられるようにする。 ウ、数字を覚え書く。また、簡単な計算ができるようにする。 エ、歌やピアノを通して音階や楽譜を理解する。</p> <p>(3) 協力すること、ルールを守る。 ア、みんなと一緒に喜んで行事に参加し、集団生活のきまりを守ることの大切さを理解する。 イ、異年齢で交流できる場を設け、触れ合いを大切にする。 ウ、学年目標を設定し、成長段階に応じた目標で達成をめざす。</p>	<p>(1) 積極的に運動する。(4.2) ア、かけっこやリレーで競争することや走る楽しさを知る。 イ、4種目の基本の柔軟体操が全員できる。 ウ、ブリッジ歩き・立ちブリッジ・ブリッジ回転、壁逆立ち・側転・アザラシ回転、三点倒立・逆立ち歩等、学年目標を掲げ挑戦する。</p> <p>(2) 読む・書く・数える・考える・表現する。(4.2) ア、50音表や文字カードを使ってひらがなカタカナを覚える。また、簡単な作文が書ける。 イ、絵本を読みその内容や感想などが言える。 ウ、足し算引き算をして書ける。 エ、みんなと一緒に楽しくピアノの合奏が出来る。</p> <p>(3) 協力すること、ルールを守る。(4.0) ア、みんなと共いきまりを知り守って喜んで楽しく行事に参加する。 イ、いきいきランチなどクラス交流ができる企画を実施し触れ合えるようにする。 ウ、学年目標の達成度は(4.0)をめざす。</p>	<p>(1) 積極的に運動する。(4.2) ア、勝ったり負けたりしながら、相手の気持ちも考え楽しんで、かけっこやリレーをしている。 イ、目標通りに基本の柔軟体操がほぼ全員出来るようになった。 ウ、各学年の目標を目指し、挑戦していく意欲も高まりほぼ全員できるようになってきている。日々の練習と積み重ねを継続していく。</p> <p>(2) 読む・書く・数える・考える・表現する(4.1) ア、各学年目標通り、文字を覚え筆順に気をつけながら正しく書く事ができている。しかし、時間のかかる子どもとの差はあり、丁寧に根気よく指導していく。 イ、年長児では、絵本の内容がわかりあらずじや感想が言えるようになってきている。 ウ、教具を使い遊びながら数字や量を覚え、年中では簡単な足し算引き算、年長では繰り上がり足し算ができる。 エ、ピアノから、音程に関心をもって、音階を理解して簡単な演奏ができるようになった。</p> <p>(3) 協力すること、ルールを守ること(3.5)未達成 ア、季節や保育活動に合わせた子どもが喜ぶ行事を実施できた。また、いろんな活動から、みんなと一緒に協力すること、仲間を大切にする、ルールを守る大切さを学ぶことができた。 イ、異年齢の交流の場となり、子ども同士触れ合い助け合いの観点から良い人間関係ができた。 ウ、学年目標はほぼ達成できている。しかし、特に躰面においては、時間をかけて指導をしていく必要がある。(4.4)</p>
<p>5 子どもの個性・特性に応じた指導</p>	<p>(1) 子どもの興味・理解・個性の違いに応じた指導</p> <p>(2) 子どもの成長・発達・特性の違いに応じた支援</p>	<p>(1) 子どもの個性に応じた指導 ア、子どもの興味・関心、理解・成長の度合いに応じた指導を行なう。 イ、子どもの心身の状態を把握し理解して、適切な指導を行なうことができるよう会議を実施し、また園内・園外の研修会に参加する。</p> <p>(2) 子どもの成長・発達に応じた支援 ア、保護者と連携を図り、その子の発達や特性に応じた支援を行なう。 イ、周囲の子ども達にも理解できる範囲で協力を促し、相互のかかわりが良好になるよう配慮し共感し合う。 ウ、保護者の理解と協力も得られるよう保護者に対する啓発活動にも取り組んでいく。</p>	<p>(1) 子どもの個性に応じた指導(4.0) ア、活動の場面ごとにまた、個々の子どもの成長や個性を理解し、見合った指導を丁寧に行なう。 イ、終礼・園内研修会・外部研修会・ステップアップ会議等の話し合いや研修会に参加し、それを踏まえて指導や配慮を行なう。</p> <p>(2) 子どもの成長・発達に応じた支援(4.0) ア、保護者と連絡を密にして連携をもち、その子の発達や特性に応じた支援をする。 イ、子ども達の相互のかかわりが良好になるよう配慮し共感し合えるように配慮する。 ウ、保護者に対する啓発活動を行なう。</p>	<p>(1) 子どもの個性に応じた指導(4.2) ア、子どもの気持ちに寄り添った丁寧且つ温もりある対応を行なってきた。また、けんかは、互いの気持ちが理解し尊重できるように見守り、子ども同士で解決できるように取り組んできた。 イ、研修会の啓発・取り組みを重視しながら意見交換会を実施してきた。保育指導について、互いに共有し合って子どもの成長に合わせた指導ができた。</p> <p>(2) 子どもの成長・発達に応じた支援(4.1) ア、保護者と連絡・連携を密にして、個々の発達、状況に応じた支援・援助ができた。 イ、子どもは子どもから学ぶ環境から、課題を持つ子どもに対して、まわりの子どもが可能な範囲で協力し教え合い援助して、互いの気持ちの理解に努め良好な関係を持つことができた。 ウ、時間のかからない子どももかかる子どもも、互いに共有して成長している姿を通して、保護者の理解が得られるようになってきたと感じている。</p>
<p>6 保護者・地域と連携した教育活動</p>	<p>(1) 保護者と連携し子どもを育てる</p> <p>(2) 地域と連携して教育活動を行なう</p> <p>(3) 幼稚園・保育園・小学校と交流の機会を図る</p>	<p>(1) 保護者との連携 ア、PTA活動を活発にし、夏まつり・運動会・発表会などで保護者と連携し協力などをお願いする。 イ、家族皆が参加できる保育参観を実施し、積極的な参加を企画する。</p> <p>(2) 地域との連携 ア、園庭を開放し、夏まつりや運動会などの行事にも地域の人を招待する。 イ、府内中学校の職業体験の受入れに協力する。 ウ、エコキャップ運動の推進を図り継続していく。</p> <p>(3) 幼稚園・保育園・小学校と交流</p>	<p>(1) 保護者との連携(4.0) ア、役員会を通してPTA活動を活発にし、協力をお願いなどをする。 イ、家族皆が参加できる保育参観について、その主旨の理解を得る。</p> <p>(2) 地域との連携(4.0) ア、園行事の開催など、ポスターの掲示や手紙で知らせ招待する。 イ、職業体験の受入れをする。 ウ、エコキャップ運動を行なう。</p> <p>(3) 幼稚園・保育園・小学校と交流 ア、合同の研修会や参観の交流を図る。</p>	<p>(1) 保護者との連携(4.5) ア、PTA活動は、5役を中心に役員会・バザーの手作り会・おやじの会・運動会や発表会の片づけの協力など保護者の活動が活発になり、園に対する理解と協力体制の姿勢がかなり高まってきている。 イ、家族参加型の参観で盛り上がり、子どもは楽しみながら活動に取り組む事ができた。</p> <p>(2) 地域との連携(4.3) ア、園庭開放・見学会・説明会などの回数増とバザー開催などで地域の方の来園が広まり、入園対象年齢児の参加が増えた。 イ、地域の中学校の職業体験を受入れ協力できた。 ウ、エコキャップ運動の継続をしていく。 (3) 幼稚園・保育園・小学校と交流 ア、交流会に参加し、教育活動の理解に努める。</p>
<p>7 研修の充実・運営体制の充実</p>	<p>(1) 研修を充実させ資質の向上を図る。</p> <p>(2) 教職員の協力・連携を強化し教育力と教育内容の充実を図る。</p>	<p>(1) 研修の充実、資質の向上 ア、園内研修を実施して資質の向上を図る。 イ、各自の目標を設定し努力する。</p> <p>(2) 連携の強化、教育内容の充実 ア、目標を共有して連携する。 イ、教育内容を充実させる。</p>	<p>(1) 研修の充実、資質の向上 ア、努力の成果を4.0以上にする。 イ、目標達成度を4.0以上にする。</p> <p>(2) 連携の強化、教育内容の充実 ア、目標を共有し連携の充実度を4.0以上にする。 イ、教育内容の向上・充実度を4.0以上にする。</p>	<p>(1) 研修の充実、資質の向上 ア、努力の成果は、4.2と目標を達成できた。 イ、目標達成度は、3.7と昨年より0.1高くなったが、個別に努力が必要である。</p> <p>(2) 連携の強化、教育内容の充実(4.4) ア、連携の成果は4.4と目標を達成できた。 イ、保育内容の充実は、心の力(4.1)学ぶ力(4.4)体の力(4.5)と少しばらつきはあるがほぼ目標を達成できた。</p>